

# 閉校を迎える単位PTAへ

# 感謝状を贈呈

少子化の進行により、今年度末も統廃合される学校が、十数校を数える。

それぞれの学校では、来し方の輝かしい歴史を振り返るとともに、新たな学校での更なる飛躍を願い、この三月末にかけて閉校式や思い出を語る会等の開催が予定されている。

- 岩手県PTA連合会では、今年度も閉校となる学校の単位PTAに対し、その長年の活動を称え、感謝状を贈呈することとしている。
- 今年度、感謝状が贈呈される単位PTAは、次の通りである。
- 葛巻町立馬淵小学校PTA (皆川勝幸会長)
- 五日市小学校へ
- 花巻市立田瀬小中学校PTA (多田義和会長)
- 田瀬中が東和中学校へ
- 北上市立煤孫小学校PTA (佐藤久重会長)
- 北上市立岩崎小学校PTA (門屋龍一会長)
- 北上市立岩崎新田小学校

PTA (高橋和幸会長)  
 以上三校は新設・いわさき小学校として

- 一関市立真滝中学校PTA (岡田もとみ会長)
- 一関市立弥栄中学校PTA (小野寺清悦会長)
- 以上二校は新設・一関東中学校として
- 住田町立上有住小学校PTA (皆川繁雄会長)
- 住田町立下有住小学校PTA (佐々木光彦会長)
- 以上二校は新設・有住小学校として
- 岩泉町立大平小中学校PTA (合砂哲夫会長)
- 岩泉町立安家小学校PTA (大崎研一会長)
- 岩泉町立安家中学校PTA (水野 肇会長)
- 以上三校は新設・安家小中学校として
- 軽米町立小玉川小学校PTA (上村秋男会長)
- 小軽米小学校へ
- 九戸村立宇堂口小学校PTA (本川耕一会長)
- 戸田小学校へ

日本PTA全国協議会  
**「実践事例集」**  
 に掲載決定

社団法人日本PTA全国協議会が例年作成しているPTA実践事例集への事例提供PTAとして岩手県から三市町村PTAを推薦した。その中から、川井村PTA連合会の実践事例が採用され、平成十九年度資料『PTA実践事例集No.24』に掲載されることに決まった。

なお、日本PTAから提示されたテーマは「広域的なPTA活動の充実―社会の変化に対応する健やかな子どもの育成―」である。

**事例提供PTA**  
 〔重石町PTA連絡協議会〕 (高橋正明会長)  
 「PTAの交流の場としての『PTA実践交流会』」  
 〔北上市PTA連合会〕 (高橋 聡会長)

**事例採用PTA**  
 〔川井村PTA連合会〕 (芳門千鶴会長)  
 「伝統芸能伝承活動」

〔教育懇談会〕  
 〔事例採用PTA〕

## たのしい子育て 全国キャンペーン2007

# おめでとう！ 三行詩コンクール入賞

社団法人日本PTA全国協議会が主催する「家庭の風景」三行詩コンクールに本県から次の児童・生徒が入賞した。

### 【小学生の部】

- 佳作
- 吉田未南さん (奥州市立岩谷堂小・二年)
- 阿部友香子さん (八幡平市立安代小・三年)

### 【中学生の部】

- 日本PTA会長賞
- 三浦季紗さん (岩泉町立小川中・三年)
- 佳作
- 遠藤優雅さん (岩泉町立小川中・一年)
- 下村 円さん (岩泉町立小川中・三年)
- 鈴木おりさん (岩泉町立小川中・三年)

日本PTA会長賞 三浦季紗さんの作品  
**お父さん、お母さん**  
**「育ててくれてありがとう」**  
**なんて、いつ言えるだろう。**

## 「やっぱり家族っていいな」/いわて家庭の風景 第4回 三行詩コンクール作品募集

**目的** 日頃の家族の姿を見つめ直す子育て全国キャンペーンの趣旨を会員及び県民全般に広め、「家族の絆」のあり方について考える機会とする。

**主催** 社団法人岩手県PTA連合会

- 応募方法**
1. 所定の用紙により、在籍等、関係する学校を通じて応募する。  
 ※FAXによる応募は不可。  
 ※「e. 一般の部」は、本会への直接応募とする。
  2. 応募部門は次の5部門とし、どの部門への応募であるか明記する。  
 (a) 小学生の部 (b) 中学生の部  
 (c) 幼稚園児の部 (d) 保護者の部  
 (e) 一般の部
  3. 一人1点、自作・未発表のもの。
  4. 著作権は本会に帰属するものとする。

**応募期間** 平成20年6月1日～6月30日

**入賞種別** 岩手県知事賞・岩手県教育委員会教育長賞  
 岩手県PTA連合会会長賞  
 優良賞・佳作 (各部門)

※詳しくは、後日各学校 (単位PTA) から配付される募集要項をご覧ください。